

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-155730

(43)公開日 平成11年(1999) 6月15日

(51)Int.Cl.⁹

識別記号

F I

A 4 7 J 27/14

A 4 7 J 27/14

Q

B 0 1 F 7/30

B 0 1 F 7/30

Z

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平9-364290

(22)出願日 平成9年(1997)11月28日

(71)出願人 594039952

長谷川 亮助

東京都杉並区高円寺南5丁目22番15号

(72)発明者 長谷川 亮助

東京都杉並区高円寺南5丁目22番15号

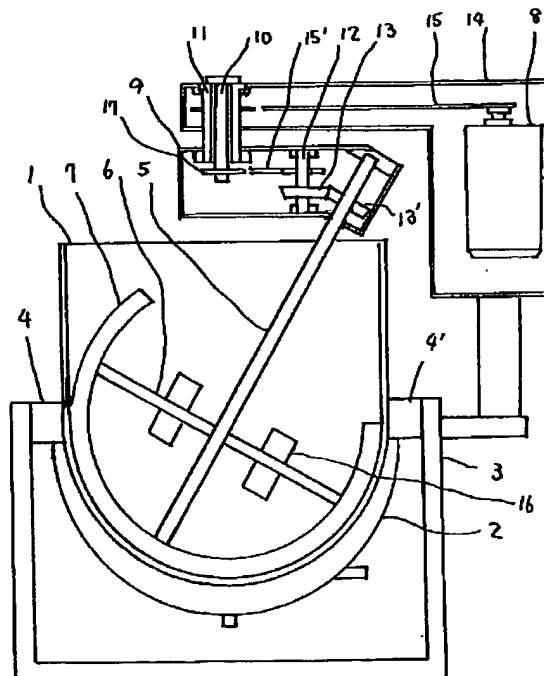
(54)【発明の名称】 自転公転斜軸攪はん付釜

(57)【要約】

化学原料、食品材料を攪はん混合する時、装置構造上、均一にすることが、むづかしい。

【目的】半球釜(1)の中心上部に回転する公転箱(9)を取付け、公転箱(9)より自転斜軸(5)を取付けることにより、半球釜(5)の内部を円を描くように回転し、斜軸で材料を上下させる。

【構成】半球釜(1)の中心上部に回転する公転箱(9)より半球釜(1)の内部に斜めに自転斜軸(5)を取付けて、攪はん羽根(7)を取付け、他端には回転装置取り付けて攪はん混合する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 図面の半球釜の中心上部に、駆動される公転軸に取り付けられた公転箱より半球釜の内部に斜めに自転斜軸を取付け、その一端には、半球釜の内面を攪はんする攪はん羽根を取付け、他端には駆動装置を取り付けた自転公転斜軸攪はん付釜

【発明の詳細な説明】

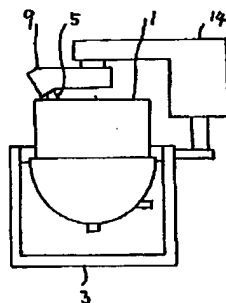
【産業上の利用分野】 化学原料、食材を攪はん混合して、製品に仕上げる化学工業、食品工業界の利用分野である。

【従来技術】 従来の自転公転攪はん機の自転軸に取り付けられた攪はん羽根は、皿状の面を自転していた。公転せずに自転軸のみもある。

【発明が解決しようとする課題】 釜に、入れる原材料が多いと、皿状では、面積を必要とするので、機械装置が大きくなる。それゆえ、奥深いポット状の釜が必要となる。ポット状の釜において、公転しないで自転軸のみであると、自転軸の先端部分の原材料は、他の箇所より移動しないで攪はんされていた。公転箱の自転斜軸の位置を大きくすると、傾きが大きくなり原材料の移動が上下となる。本発明は、半球状の釜として、原材料を自転斜軸の攪はん羽根により、上下動させながら、公転により自転斜軸を釜の中を、円を描くように、攪はんするので、原材料の移動を大きくすることを特徴とした。

【課題を解決するための手段】 フレーム3の取付軸4、4'に半球釜1を取り付ける。ステンレス、鉄、銅、アルミ等で作られた半球釜1の底部に、ジャケット2を取付ける。モータ箱14に取り付けられたモータ8の駆動により、チェーン15で半球釜の中心上部にある公転軸11を回転する。公転軸11に取り付けられた公転箱9を回転させる。中心軸10に取り付けたスプロケット17、チェーン15'により歯車軸12ベベル13、13'自転斜軸5を回転させる。自転斜軸5に取り付けられた取付軸6の攪はん羽根7、補助羽根16を回転させて、原材料を攪はん混合させる。

【図1】



【作用】 半球釜の中心上部の公転される公転箱の自転斜軸は、図1、図3に示すように向きが変わっているように内部を、均一に攪はんする。ジャケットに蒸気をいれて釜を暖める。ジャケットの代りにガス、電気ヒータでもよい。

【実施例】 図3の正面全体断面図で説明する。フレーム(3)の取付軸(4)(4')に、底にジャケット(2)付の半球釜(1)を取り付ける。モータ箱(14)のモータ(8)により、チェーン(15)を介して公転軸(11)を回転する。公転軸(11)に取り付けられた公転箱(9)を回転する。半球釜(1)の内部に斜めに入れて自転斜軸(5)を公転箱(9)に取り付ける。自転斜軸(5)には取付軸(6)を取り付け、攪はん羽根(7)を取り付ける。中心軸(10)にスプロケット(17)を取り付けチェーン(15')で歯車軸(12)、ベベル(13)(13')を介して自転斜軸(5)を回転して、半球釜(1)の内部を攪はんする。【発明の効果】 半球釜の原材料の移動しなかった部分が公転動作でなくなり、自転斜軸により原材料を上下に攪はんされるようになった。

【図面の簡単な説明】

【図面】

【図1】 正面全体図

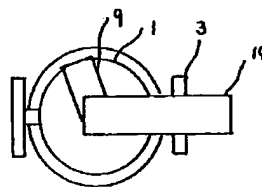
【図2】 平面全体図

【図3】 正面全体断面図

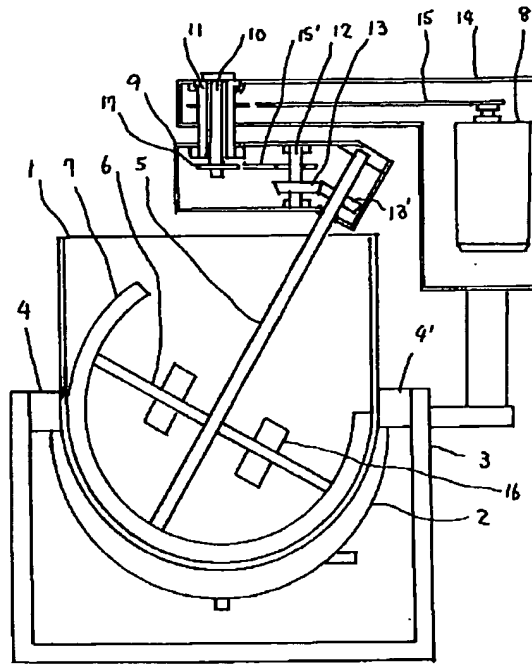
【符号の説明】

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1、半球釜 | 2、ジャケット | 3、フレーム |
| 4、4'、取付軸 | | |
| 5、自転斜軸 | 6、取付軸 | 7、攪はん羽根 |
| 8、モータ | | |
| 9、公転箱 | 10、中心軸 | 11、公転軸 |
| 12、歯車軸 | | |
| 13、13'、ベベル | 14、モータ箱 | 15、15'、チェーン |
| 16、補助羽根 | 17、スプロケット | |

【図2】



【図3】



PAT-NO:	JP411155730A
DOCUMENT-IDENTIFIER:	JP 11155730 A
TITLE:	POT WITH ROTATING/REVOLVING INCLINED SHAFT STIRRING
PUBN-DATE:	June 15, 1999

INVENTOR-INFORMATION:	
NAME	COUNTRY
HASEGAWA, RYOSUKE	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:	
NAME	COUNTRY
HASEGAWA RYOSUKE	N/A

APPL-NO:	JP09364290
APPL-DATE:	November 28, 1997

INT-CL (IPC):	A47J027/14, B01F007/30
----------------------	------------------------

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To vertically move a material on an inclined shaft while making a stirrer revolve inside a semispherical pot so as to draw a circle by attaching a revolving box to the central upper part of the semispherical pot and attaching a rotating inclined shaft from the revolving box.

SOLUTION: The semispherical pot 1 with a jacket 2 on its bottom is attached to attachment shafts 4 and 4' of a frame 3. A revolving shaft 11 is revolved through a chain 15 by a motor 8 in a motor box 14, and a revolving box 9 attached to the revolving shaft 11 is revolved. A rotating inclined shaft 5 is attached to the revolving box 9 while being obliquely put into the semispherical pot 1. An attachment shaft 6 is attached to the rotating inclined shaft 5, and a stirring blade 7 is attached. A sprocket 17 is attached to a central shaft 10, the rotating inclined shaft 5 is rotated through a gear shaft 12 and bevels 13 and 13' by a chain 15', and the inside of the semispherical pot 1 is stirred.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO